

柏崎市・刈羽村における各戸訪問の概要と実績

2017年11月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

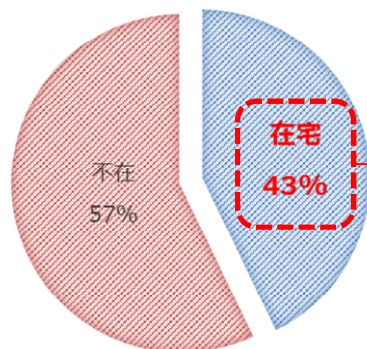
訪問目的：柏崎市・刈羽村の皆さまから、発電所の取り組み等に対して様々なご意見をいただき、今後の発電所の運営に活かしていく

訪問期間：平成29年5月29日（月）～9月30日（金）

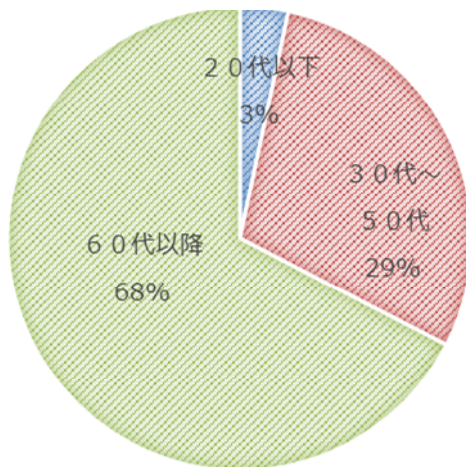
訪問対象：柏崎市・刈羽村地域の皆さま（店舗等は除く） 計 41,563世帯

対応箇所：発電所・新潟本部・本社・信濃川電力所・事業所 計 307名

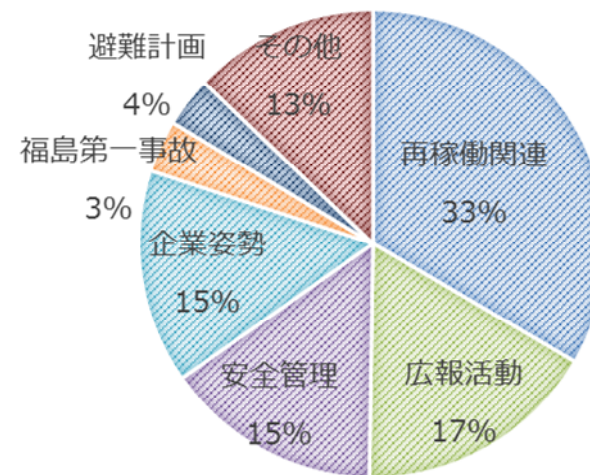
在宅状況	
在宅	15,336
不在	20,469
空家等	5,758
合計	41,563



お会いできた方の年代
(N = 15,336人)



いただいた声の分類
(N-2,583件)



地域の皆さまからいただいた主な声の内容

声の分類	件数	内容
再稼働関連	864件	<ul style="list-style-type: none">・ 柏崎が疲弊しているなので、早く発電所が動いて町全体が今までのように活性化してくれることを望んでいます。・ 電気は必要だが、原子力を再稼働するのは反対である。
広報活動	434件	<ul style="list-style-type: none">・ 各戸訪問を続けることで、東電との親近感が高くなると思う。・ CMをもっと流して安全性アピールした方がよい。・ CMはやめるべき。
安全管理	386件	<ul style="list-style-type: none">・ 他国からのミサイルなどへの安全対策が不安である。・ 安全に絶対は無いのでその辺の対策をしっかりとやってもらいたい。
企業姿勢	384件	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の声をしっかりと社内に届けて地域目線を持った会社になってください。・ 東電の隠蔽体質を改める必要があるなので、頑張ってもらいたい。情報を公開し、透明性を高めていくことが必要。
避難計画	93件	<ul style="list-style-type: none">・ 具体的な避難計画の策定、訓練をしっかりとやってほしい
福島第一事故	90件	<ul style="list-style-type: none">・ 柏崎刈羽原子力発電所だけでなく、もっと福島のことを伝えるべき。・ 福島事故を経験しているからこそ大丈夫なことがあると思う。しっかり頑張ってもらいたい。
その他	332件	<ul style="list-style-type: none">・ 核の廃棄物処理をはっきりしてほしい・ 原子力以外のエネルギーへシフトすべき。・ 地球の温暖化等についても考えてほしい。